

クリスタルホルダー

— 施工説明書 —

このたびは、フクビ製品「クリスタルホルダー」をお買い上げくださいますと有難うございました。
下記の施工説明書をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。

1 規格・使用部材・使用工具

規 格	呼 称		材 質	規 格	入 数
	クリスタルホルダー ストレートS		A種ビーズ法ポリスチレンフォーム特号 (JIS A 9511) 熱伝導率:0.034W/(m・K) 以下 熱抵抗値:1.7㎡・K/W 以上 ※熱抵抗値は、 厚み÷熱伝導率 で算出 クリスタルホルダーは異形状ですが、どの部分 においても厚み60mmを確保しております。	W95mm × L575mm × H150mm	8
	クリスタルホルダー コーナーS			W260mm × L260mm × H150mm	8
	クリスタルホルダー ストレートM			W95mm × L575mm × H175mm	8
	クリスタルホルダー コーナーM			W260mm × L260mm × H175mm	8
	クリスタルホルダー UB用セット S	クリスタルホルダー ストレートS		W95mm × L575mm × H150mm	4
		クリスタルホルダー コーナーS		W260mm × L260mm × H150mm	3
	クリスタルホルダー UB用セット M	クリスタルホルダー ストレートM		W95mm × L575mm × H175mm	4
		クリスタルホルダー コーナーM		W260mm × L260mm × H175mm	3
別 売	ノンケミアリダンクリスタル UB用セット		ガラス粒材	5kg	1

※UB用セットは、1坪のユニットバスにちょうど納まる数量となっています。

使用部材

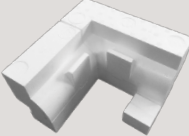
■クリスタルホルダー



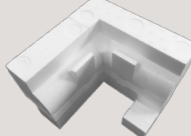
ストレートS



ストレートM



コーナーS



コーナーM

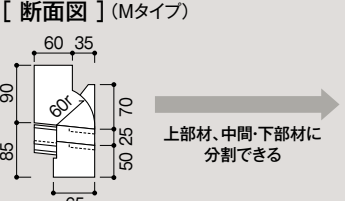
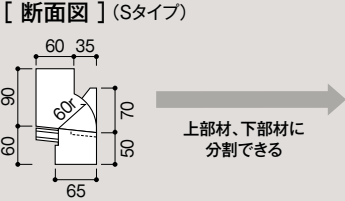
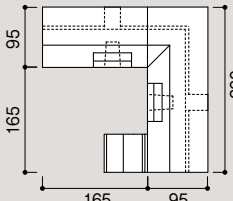
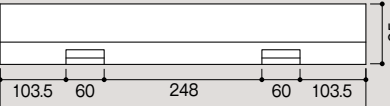
■ノンケミアリダンクリスタル



■接着剤 (現場調達)

カートリッジ式、非溶剤系の接着剤を
選定し、準備してください

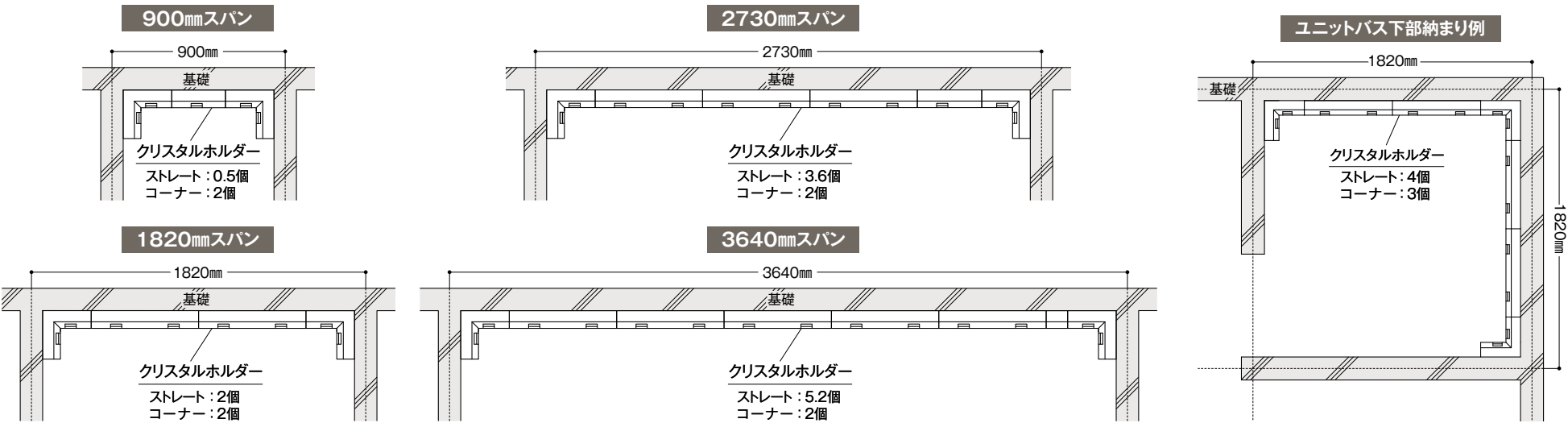
(単位: mm)



使用工具

●カッター / ●コーキングガン / ●ショベル / ●ノミ

2 納まり例



3 注意事項

- 当商品を用いた施工のみでは、ノンケミアリダン工法などの防蟻保証制度の保証の対象にはなりません。防蟻保証制度による保証をお求めになられる場合は、追加工事が必要になります。詳しくは弊社営業所にお問い合わせください。
 - 長時間、直射日光にあてると劣化の原因になります。保管する際は十分ご注意ください。また、施工の際もすみやかに仕上げ施工を行うなど、配慮をしてください。
- クリスタルホルダーに防蟻剤がかからないようにご注意ください。
 - クリスタルホルダーは可燃物です。火を近づけないようご注意ください。
 - 廃棄する場合は、各地域の廃棄物処理指針に従って処理してください。
 - 施工時、施工後に接着剤、塗料には十分ご注意ください。
 - 施工後、上に乗ったり重量物を載せると、クリスタルホルダーが割れますのでご注意ください。
 - 雨天時は施工しないでください。
- 施工後、必ず養生を行ってください。
 - 施工後、雨水がたまったり、クリスタルホルダーが湿ってしまったなどの場合は、乾燥を十分におこなってください。
 - 保管時は、雨掛かりにならないような場所に保管ください。
 - 保管時には床に直置きしないようにしてください。

4 施工手順

事前準備

施工しやすいよう、基礎際のゴミ・埃を取り除いてください。
基礎際にノロ漏れや型枠固定金具があると、クリスタルホルダーと
ノンケミアリダンクリスタルがたたく施工できませんので、ノミなどで取り除いてください。



1 仮置き・寸法調整カット



納まり確認のため、基礎際にクリスタルホルダーを仮置きしてください。(長さに調整が必要な場合は、クリスタルホルダーをカットしてください。)

2 接着剤塗布

下部材(中間・下部材)の底面にライン状に接着剤を塗布してください。接着剤は専用アングル止め接着剤または、アクリル、ウレタン、シリコン、変性シリコン系などのカートリッジ入りのタイプをご使用ください。溶剤系は断熱材を傷めますので、使用しないでください。
クリスタルホルダー用各種接着剤:8m/本(333ml:ノズル口径7mm)

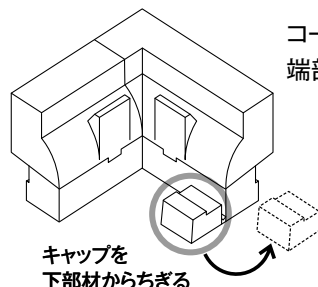


3 下部材(中間・下部材)の接着

接着剤を塗布した下部材(中間・下部材)の突き出し部を基礎立ち上がり面に押し当てて、基礎際にしっかり接着させてください。

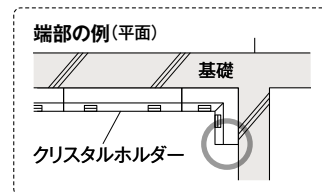


4 端部キャップの取り付け



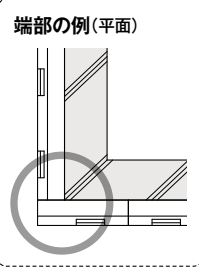
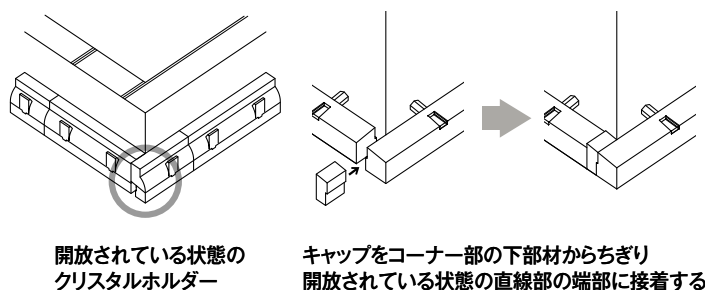
キャップを端部に接着する
※ちぎれ面が邪魔になるときは、カッターで取り除いてください

コーナー部の下部材には端部用のキャップが付いています。ノンケミアリダンクリスタルの施工が端部となる箇所には、このキャップを下部材からちぎってコンクリート面に接着してください。

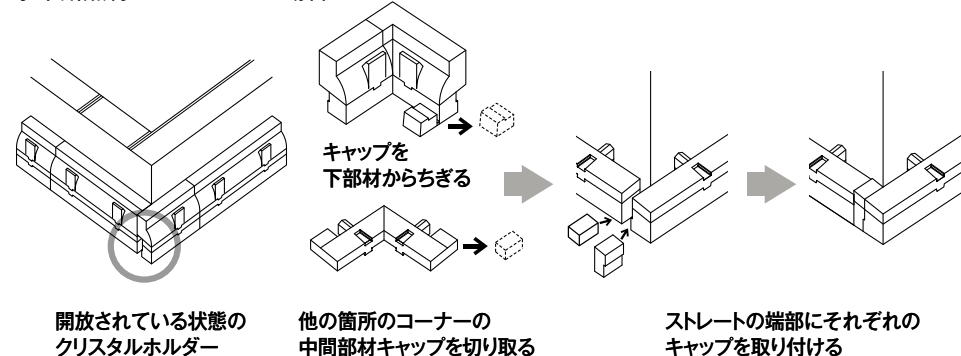


5 出隅の納め方

水平断熱材40mm以下の場合、図のような出隅となる箇所は、コーナー部のキャップを一つちぎって、開放される側のクリスタルホルダー端部のコンクリート面に接着してください。

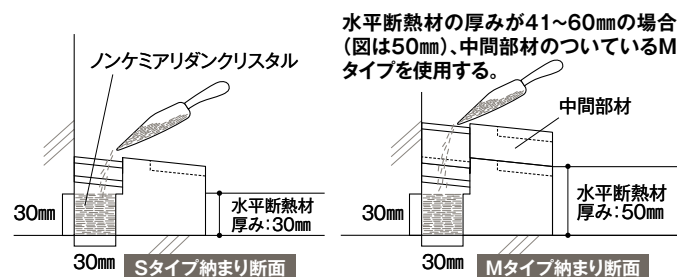


水平断熱材41mm~60mmの場合



6 ノンケミアリダンクリスタルの施工

ちりとりや園芸用ショベルなどを用いて、ノンケミアリダンクリスタルを施工してください。施工高さは30mm以上です。目安となる位置に凹みがあります。



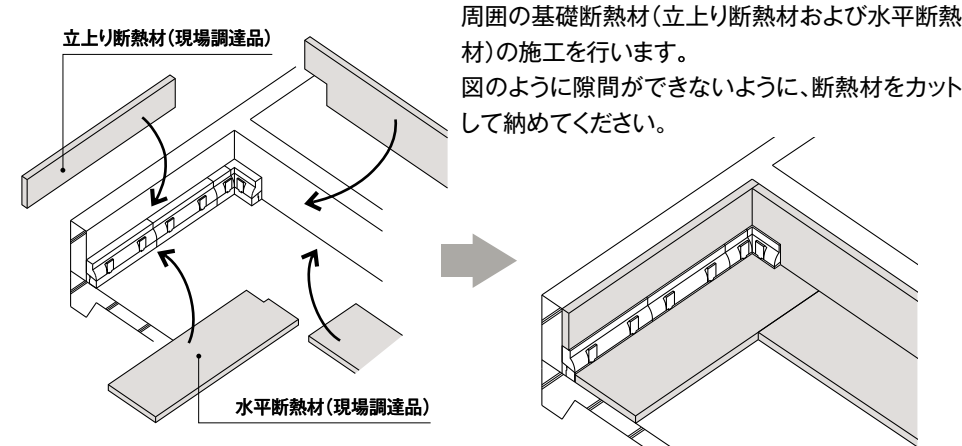
7 上部材の設置

上部材は下部材(中間・下部材)にスライドさせて嵌合するようになっております。上部材を設置してください。



【注意】上部材はコンクリートならびに下部材(中間・下部材)と接着させないでください。

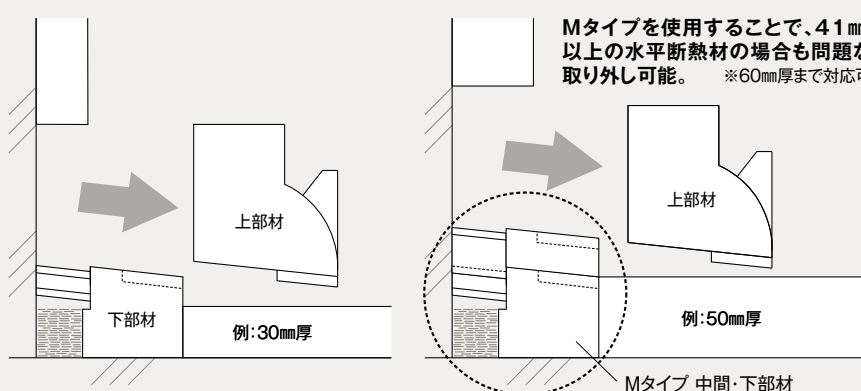
8 立上り断熱材、水平断熱材の施工 完了



周囲の基礎断熱材(立上り断熱材および水平断熱材)の施工を行います。
図のように隙間ができないように、断熱材をカットして納めてください。

点検時

クリスタルホルダーの上部材のみスライドさせて取り外せるようになっております。そこから基礎際内部の確認を行うことができます。



Mタイプを使用することで、41mm厚以上の水平断熱材の場合も問題なく取り外し可能。 ※60mm厚まで対応可能

